

みしま

この夏、最高の宝物は
緑輝く大自然の思い出

主な内容

P2 先進地視察調査報告
宮城県加美町・大崎市

P5 みしま HOT LINE

P8 ズームインみしま

P10 みしま TOPICS

P12 みしま INFO & NEWS

P13 連載「心ある医療」

P14 情報ひろば

P16 連載「三島人」

2008
9

広報みしま No.186



Photo/ツリーイングに挑戦した「桐の子隊」（8月4日 美坂高原）10ページに関連記事掲載

安全で美味しい野菜を、畑から消費者へ



「やくらい土産・山の幸センター」では、農産物が生産者ごとに分けられ、顔写真とPRコメントが表示されている。



農事組合法人さんちゃん会
組合長 加藤重子さん



「あ・ら・伊達な道の駅」では、「地域文化を売る」という営業理念のもと、商品の陳列に特産の岩出山の竹細工を使うなどの演出を行っている。また、施設内のテナントには、コンビニやパン屋、チョコレート屋などの様々な店舗が並び、利益の向上につなげている。

畑とレジが直結 常に新鮮な野菜を提供

大崎市の「あ・ら・伊達な道の駅」は、八十三名の旧岩出山町民が株主となって設立された「(株)池月道の駅」により運営されています。代表取締役社長の佐藤仁一さんは、「地産地消は当たり前。今は『旬産旬味』です。売り場には倉庫がなく、畑そのものが倉庫と考えています。」と話します。生産者は、午前九時、午前十一時、午後三時の一日三回出荷し、常に新鮮な野菜が売り場に並びます。

また、一時間毎の販売状況が生産者にメールで配信されるシステムにより、畑とレジが直結し、売れ筋の把握と品切れの防止が図られています。さらに、*トレーサビリティシステムにより商品の情報がモニターに表示され、消費者に安心感を与えています。商品の陳列や買い物かごには、特産の岩出山の竹細工を使うなど、地元になんだ売り場の演出がされています。

このほか、クレームには百分対応するなど、消費者本位の売り場作りが実践されています。平成十三年に約百六

十五万人だった来場者は、平成十九年には約三百五十万人に増加。他県からのリピーターも増えているそうです。情報発信基地としての機能も備え、周辺施設の来場者も増えており、地域の交流人口は確実に増加しています。

*トレーサビリティシステム
栽培・加工・流通・販売など、商品に関する情報を消費者に伝えること。「あ・ら・伊達な道の駅」では、売り場に設置されている機器に商品のバーコードをかざすと、生産者、栽培・調理・保存方法などの情報がモニターに表示されるようになっている。

活気ある直売所で地域経済の活性化を

農産物の直売所は 地域活性化の拠点

食の安全・安心が求められる今、生産者の顔が見える農産物の直売所が全国で人気を集めています。今回視察した宮城県加美町・大崎市の直売所では、旬の野菜を新鮮な状態で提供することはもちろん、消費者のニーズに応える様々な販売戦略により、生産者の所得向上につながっています。また、地域の情報を発信する拠点施設としての役割も担い、周辺地域の活性化に大きく貢献しています。

生産者が一体となり 営業努力で売上向上

加美町の「やくらい土産・山の幸センター」は、仙台市街から車で約一時間半の位置にあり、農事組合法人「さんちゃん会」により運営されています。「さんちゃん」とは、お母ちゃん、おばあちゃん、おじいちゃんのこと。地元の生産者が一体となって取り組んでいます。

農産物は旬のものにこだわり、季節に合わないものは販売しません。また、生産者の顔写真やコメントを売り場に

掲示するなど、消費者に情報を流す工夫もされています。ワラビの生産者で代表理事組合長の加藤重子さんは、パワーあふれるお母ちゃん。「直売所の最大のメリットは、生産者と消費者が直接顔をみて話せることです。」と話します。売り場は、職員だけでなく生産者が交代で担当することで、消費者の声を聞き、生産者一人一人の意識向上を図っています。さらに、年間の売上が二十万円以下の状態が二年続くと、組合から除名されてしまうという厳しい規定により、全員で売上を

伸ばすという意識付けを行っています。また、毎週木曜日は仙台市内の百貨店出張販売を行うなど、PR活動も積極的に展開されています。



やくらい土産・山の幸センター

概要	
加美町 (H15合併)	
■人口	26,827人 (H20.7.1現在)
■面積	460.82km ²
大崎市 (H18合併)	
■人口	138,402人 (H19.4.1現在)
■面積	796.76km ²

宮城県
加美町・大崎市

場員
役職
町手
三若

先進地視察調査報告④

宮城県加美町・大崎市

昨年度の実施した徳島県上勝町、岩手県遠野市、長野県下條村の視察調査に続き、6月1・2日、宮城県加美町・大崎市の視察調査を実施しました。今回は、活気あふれる物産直売所を中心に視察してきました。その概要を報告します。



先進地視察調査の結果を町議員に報告

役場若手職員が報告会を実施

今後の町づくりに向けて、役場の若手職員15名が4班に分かれて実施した先進地視察調査の結果を共有するために、町議員を対象とした報告会が、7月28日、町民センターで行われました。若手職員は町長の命を受けて、昨年11月に徳島県上勝町、12月に岩手県遠野市、今年1月に長野県下條村、6月に宮城県加美町・大崎市の視察調査を行いました。報告会は調査班ごとに行われ、資料をスクリーンに映しながら、若手職員一人一人が自分の言葉で発表しました。参加された議員の方々からは、「調査結果を三島町と対比してみる視点を持って報告したことに意義がある。」「先進地の成功例を町の事業にどのように反映させるかを検証し、計画・実行することが大切。」などの意見が出されました。

若手職員にとっては初めての視察調査と報告会であり、調査や報告資料作りの過程、そして人前

で発表するという経験を通して、様々なことを学びました。この調査結果を町民の皆さんの暮らしに活かせるように、若手職員による話し合いが続けられています。

※先進地視察調査の報告は、広報みしま5月号・6月号・7月号・9月号（本号）に掲載されています。



先進地視察調査報告会

魅力ある観光は「魅力ある人づくり」から

奥会津の観光魅力を考える講演会

8月1日、町民センターにおいて「奥会津の観光魅力を考える講演会」が開催されました。この講演会は、奥会津資源活用型振興方策研究会の事業として行われたもので、県と奥会津町村の職員や観光事業関係者など約30名が出席しました。講師の菅原由美子さん（菅原由美子観光計画研究所主宰・立教大学観光学部兼任講師）は、自らが携わってきた数々の観光事業など全国の事例を挙げながら、

「これからの観光は人づくりに投資しなければなりません。人の魅力が人を呼びます。インタープリターや観光ガイドなど、交流人口の増に貢献できる人材の育成が最も大切です。」と話されました。三島町も含め奥会津地域の観光では、豊かな自然や歴史文化の中から地域資源を再発見すると共に、その地域資源を活用できる人

材の育成が最重要課題といえます。

最近では、単に観光地を見て回るだけでなく、滞在して地域を体験できる観光を志向する人々が増えています。その体験をいかに楽しく提供できるか、来訪者の記憶に残せるかが、これからの観光の重要なポイントです。



奥会津の観光魅力を考える講演会



情報発信拠点であると同時に、町の代表的な直売所である道の駅「尾瀬街道みしま宿」。農産物生産販売体制の組織化を行えば、地域経済の中心としてさらなる効果が期待できる。

農産物の生産販売体制を組織化し
活気ある直売所をみんなで作ろう

安全で美味しい農産物を
三島町から消費者へ

加美町は、仙台市街からの距離が決して近いとは言えない山間部ですが、生産者が一体となった営業努力により売上を伸ばしてきました。三島町でも、会津若松や郡山方面などの消費者を呼ぶ努力が必要ではないでしょうか。

まず、三島町の農産物の種類や収穫量、生産者、出荷量などを調査する必要があります。その上で生産者を組織化し、栽培・出荷・販売についての勉強会や計画作りを行うことで、畑と直売所を効率的につなぐ体制を整備することが重要です。

誰もが共通して考えることは「健康」。輸入食品に頼っている日本の危うい食事情を背景に、安全・安心な食品への関心が全国で高まっています。農山村で育てられた新鮮

な旬の野菜を、多くの人々が求めています。それは今や都市生活者だけでなく、農山村に住む私たちも同じです。農産物直売所の充実を図ることは、所得の向上や地域経済の活性化、そして健康づくりにもつながります。みんなが活気ある直売所を作りましょう。

【課題】 農産物生産販売体制の組織化

- ①農産物の種類、収穫量等の調査
- ②出荷している生産者の調査
- ③直売所生産販売組合の設立
- ④トレーサビリティの導入
(生産者、生産履歴等の明確化)
- ⑤特産野菜の生産

DATA

道の駅「尾瀬街道みしま宿」

- 指定管理者 (有)マルシェみしま
- 役員 6名
- 資本金 600万円
- 職員 4名
- 年間売上額 6,000万円 (H19)
- 施設使用料 722,400円/年
- 来場者 約22万人/年

《町内の農産物等直売所》

道の駅「尾瀬街道みしま宿」
菜所屋（桧原）
物産品なごみ（川井・道の駅隣り）
ふれあい市（会津宮下駅前）



みしま HOT LINE

ふるさと納税

町出身者などに協力を呼びかけ 「ふるさと納税制度」

「ふるさと納税制度」とは、今年4月30日に公布された地方税法等の一部を改正する法律により、都道府県・市区町村に寄付した場合、5千円を超える部分について、一定の限度額まで住民税と所得税を合わせて全額が控除される制度で、「ふるさとを応援したい」という納税者の思いを活かすことができるようにしたものです。

町では、寄付金を募るチラシやホームページなどにより、町出身者などに協力を呼びかけています。寄付があった場合は、まちづくりのために大切に活用することとしています。

【税額軽減の例】

給与収入700万円夫婦・子供2人
住民税額が約30万円の場合の計算例

40,000円寄付した場合

住民税の税額控除 31,500円

所得税の所得控除による税額軽減 3,500円

合計35,000円が税額から軽減



寄付を呼びかけるチラシ

社会を明るくする運動

子どものことが心配な現代社会 親の役割をふりかえる 社会を明るくする運動ミニ集会開催

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を予防すると共に、あやまちを犯した人の立ち直りを地域で支えていく更生保護活動などを行うものです。三島町でも保護司会（会長 小平兼嗣さん）が中心となり活動しています。7月29日には、社会を明るくする運動ミニ集会が町民センターで行われ、「親父の一言」と題したビデオを上映し、意見交換を行いました。参加者からは、「子どもたちを親だけでなく地域の人々で見守り、支えあうことが大切だ。」「モニターペアレントと言われるように、親が大人になっていないことが問題だ。」「若い世代の犯罪が増えている。個性が違う人間がいることを知らないで育つと怖い。」などの意見が出されました。生きていく最小の単位は「家庭」です。子ども



社会を明るくする運動ミニ集会

は親を見て育ち、家庭と地域の環境の中で成長します。犯罪や非行の予防は、親がきちんと子どもと向き合うことから始まるのではないのでしょうか。子どもと真剣に向き合い、「親父の一言」を言う勇気が必要です。

エコミュージアム

山村の暮らしにふれながらインタプリターの手法を学ぶ 奥会津案内人講座2008（第2回）

奥会津案内人講座は、奥会津の自然・文化・人に学びながら、インタプリター（案内人）としての知識と基礎技術などを実習スタイルで学ぶものです。第2回の講座は8月23・24日、6名の受講者が参加して行われました。

ゲスト講師の五味愛美さん（財団法人キープ協会）は、ハケ岳自然ふれあいセンター（山梨県清里）で自然ガイドの仕事をしています。五味さんの講座では、まず研修会や体験ツアーなどの開始時に、参加者の心の緊張を解きほぐし、参加意欲を高めるために行う「アイスブレイク」について学びました。今回は、紙風船をトスしながら自己紹介をする手法を実践。これによって楽しい場の雰囲気ができ、同時にそれぞれの個性やふだん考えていることの一端が引き出され、次のプログラムへの導入となることがよくわかりました。



紙風船を使った自己紹介（アイスブレイク）

続いて、インタプリテーションの基礎として、木の葉を使った野外体験や、自然の知識や事実をクイズにするなど工夫して人に伝える実習が行われました。

夜は、宿泊場所である森の校舎カタクリで、角田伊一さん（文化財専門員・川井）から奥会津の歴史と民俗についての話を聞き、厳しく取り締まられていた農民の生活や楽しみであった年中行事などについて学びました。

2日目は間方地区でのフィールドワーク。菅家藤一さん（生活工芸館職員・間方）のお宅を訪問し、養蚕の道具などを見せていただきながら、集落の暮らしについて聞きました。昔は田畑・植林・炭焼き・養蚕・狩猟などを生業としてきた間方地区。現代では失われた様々な魅力が隠れています。伝統的工芸品「奥会津編み組細工」もその一つです。



菅家藤一さんのお宅を訪問（間方地区）

PROFILE

五味愛美 ごみ あいみ

（財）キープ協会環境教育事業部主任、ハケ岳自然ふれあいセンター担当。静岡県出身。植物・消費社会・発達心理・発達五感(造語)・森林療法などをキーワードに活動している。



その後、志津倉山に広がるブナの原生林へ向かいました。この日はあいにくの雨でしたが、五味さんの雨でも楽しめる森林体験の一つとして、フィルムケースに雨水をできるだけためるというゲームをしました。このゲームによって、雨が樹幹流となってブナの幹を流れ、土壌に豊富な水を蓄えることを体感することができます。

第3回目は、9月27・28日です。本講座事務局では、町民の参加者を募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ 三島町エコミュージアムプロジェクト事務局
（三島町教育委員会）TEL 48-5599



福寿草前に咲く千日草

福寿草前に1,000本の千日草

阿部英敏さんがボランティアで花植え

高齢者生活福祉センター福寿草の前に、約1,000本の千日草がきれいに咲いています。福寿草や桐寿苑を訪れる人々や沿道を通る人々に楽しんでもらおうと、阿部英敏さん（松原）がボランティアで毎年植えているものです。阿部さんは約3,000本の千日草の苗を育て、1,000本を福寿草前に、残りの2,000本は駅や道路沿いに植えたほか、町内外の知人に届けたということです。日々、身近なボランティア活動に積極的に取り組んでいる阿部さん。美しく咲く千日草には、阿部さんの優しい心が表れているようです。



優勝したオール名入チームの皆さん

オール名入が打撃力で勝利

お盆の地区対抗ソフトボール大会

お盆恒例の地区対抗ソフトボール大会は、8月14日、町民運動場で開催され、9チームが出場しました。お盆で帰省した方々も多数参加し、白熱したプレーが展開されました。結果は、大量得点を重ねたオール名入チームが優勝。2位は西方チーム。3位は松原チーム、大石田チームでした。最優秀選手には、オール名入チームの小柴幸男さんが選ばれました。おめでとうございます。



力投したピッチャーたち（地区対抗ソフトボール大会）

いつまでもみずみずしい感性を
三島町成人式

8月15日、三島町成人式が交流センター山びこで行われ、新成人20名の皆さんに、成人証書と「あわれみ深く思いやりがあつい」という意味の「仁恕」という齋藤茂樹町長からの色紙が手渡されました。齋藤町長は、「いつまでもみずみずしい感性を失うことなく、今後の人生を切り拓き、品格ある人間となる努力をしてほしい。」と式辞を述べました。また、角田伊一会議議長、栗城卓夫教育委員会委員長が祝辞を述べ、新成人を代表して飯塚秀史さん（西方）が、「見守ってくれた家族に心から感謝し、人生を悔いることのないよう精一杯生きていきます。」と誓いの言葉を述べました。式には小学校の恩師である葛岡丈治先生、葛岡まみ先生、中学校の恩師である山内憲春先生、佐藤真澄先生も出席されました。終了後、新成人の皆さんは生活工芸館へ移動し、記念品としてヒロロコースターを作りました。その後、「桐の湯」において祝賀パーティーが行われ、久しぶりに再会した友人と近況を語り合うなど楽しい時間を過ごしました。

学生や社会人として、それぞれの道を歩んでいる新成人の皆さん。これからは大人として言葉や行動に責任を持ち、思いやりの心を大切に、夢に向かって進んでほしいと思います。

平成20年度 新成人者（敬称略）
（昭和62年4月2日～昭和63年4月1日生）

諏訪 達也(大谷)	長谷川 望(川井)
佐久間 忠(小山)	五十嵐 加也(大谷)
若林 裕史(滝谷)	飯塚 秀史(西方)
長谷川 昌広(川井)	五十嵐 功介(大石田)
山口 一也(松原)	小池 歩(西方)
片山 和明(松原)	星 明日香(西方)
齋藤 隆一郎(川井)	小柴 浩美(名入)
岩佐 由香(西会津町)	渡部 美樹(大石田)
角田 絵美(大登)	馬場 由浩(大谷)
酒井 由季(宮下)	山内 沙弥香(西方)



ヒロロコースター作りをする新成人の皆さん

三島町選挙管理委員改選

委員長に奥村吉雄さん

三島町選挙管理委員会委員が改選され、4名の委員が決まりました。よろしくお願いします。



奥村吉雄さん(名入)
委員長



長谷川四平さん(川井)
委員長職務代理



五十嵐光榮さん(滝谷)



坂内アイ子さん(宮下)

大谷納税貯蓄組合に 会津地方振興局長感謝状

納税功労者に対する感謝状

8月1日、県税の納税に関する優良納税貯蓄組合として、大谷納税貯蓄組合に対する会津地方振興局長感謝状の伝達式が行われ、高橋純一 県税部長から組合長の二瓶譲さんに感謝状が手渡されました。また同時に、個人県民税優良町村として三島町に福島県知事感謝状が贈られました。



会津地方振興局長感謝状を授与される
大谷納税貯蓄組合長の二瓶譲さん

馬場英三さんに法務大臣感謝状

人権擁護委員を4期12年務める

7月31日、人権擁護委員を任期満了により退任された馬場英三さん(松原)に対する法務大臣感謝状伝達式が行われ、佐藤勇一 福島地方法務局若松支局長から馬場さんに感謝状が手渡されました。馬場さんは、人権擁護委員を平成8年から4期12年務められ、人権尊重思想の普及高揚にご尽力されてきました。本当にありがとうございました。

新たな人権擁護委員には目黒三和子さん(滝谷)が委嘱され、小平兼嗣さん(西方)が再任されました。



法務大臣感謝状を受けた馬場英三さん



人権擁護委員(再任)
小平兼嗣さん



人権擁護委員(新任)
目黒三和子さん

ようこそ、リサ・ハンセン先生

A L T (英語指導助手) に着任

三島町・金山町・昭和村の小中学校のA L T (英語指導助手) に、カナダ・バンクーバー出身のリサ・ハンセン先生が着任しました。「三島町は自然がとても美しいです。日本語の勉強をしながら子どもたちに英語を教えていきたいです。」と話しています。スレンダーで笑顔の絶えないリサ先生。どうぞよろしくお願いいたします。



A L T に着任した
リサ・ハンセン先生



三島パープルレディースの皆さん

三島パープルレディース 会津大会 2 連覇

第61回県民スポーツ会津大会
家庭バレーボール

8月3日、第61回県民スポーツ会津大会が会津坂下町で開催され、三島町からは両沼予選を勝ちあがった家庭バレーボール、壮年ソフトボールのチームが出場しました。壮年ソフトボールは惜しくも1回戦敗退となりましたが、家庭バレーボールに出場した三島パープルレディースは見事優勝を果たし、会津大会2連覇を達成しました。おめでとうございます。

ツリーイングで自然体験

桐の子隊

「桐の子隊」は、子どもたちの放課後の居場所作りとして、様々な体験を行っています。夏休み中の8月4日には、美坂高原で「ツリーイング体験」が行われました。ツリーイングとは、ロープなど専用の器具を使った木登りです。参加した小学生たちは、様々な自然体験プログラムを提供している企業گرانデックスの方々の指導により器具を使った木登りに挑戦。慣れてくると高さ7, 8 mまで登り、からだ全体で自然を体感している様子でした。「桐の子隊」については、教育委員会 (Tel 48-5599) にお問い合わせください。



ツリーイングを体験する
子どもたち



三島サッカースポ少の皆さん

サッカー少年たちが三島に集まる

三島町少年サッカーフェスティバル

8月16日~17日、町民運動場において三島町少年サッカーフェスティバルが開催され、会津地域から6チームが参加しました。子どもたちのサッカー技術のレベルアップや各チームの交流を目的とし、今回で3回目の開催。子どもたちは対外試合の経験を通して大きく成長し、また指導者や保護者の方々も含め、会津地域のサッカーを通じた交流にもつながっています。

《試合結果》1位 湯川F C、2位 両沼F C、3位 日新S S S、4位 三島サッカースポ少、5位 リベロ会津F C、6位 広瀬スポ少



諏江霞純さん(左)と板橋和奏さん(右)

1 日道路パトロールを体験

板橋和奏さんと諏江霞純さん

8月7日、三島小6年の板橋和奏さん(宮下)と諏江霞純さん(松原)が1日道路パトロールを体験しました。これは道路の役割や重要性に対する関心を高めるため、8月を「道路ふれあい月間」と定め、そのキャンペーンとして行われたものです。二人は道路補修作業や衛星電話を使った通信の体験、工事現場の見学などを通じて、道路の大切さを学びました。

夏野菜のびっくりショー

美味しい夏野菜を栽培する町民の皆さんの畑で、こんなびっくり野菜が出現しました。



萩野耕市さん（荒屋敷）の畑では、葉っぱの生えたきゅうりの実がとれました。

写真提供/中丸一雄さん（宮下）



渡邊房子さん（大石田）の畑では、まるでグローブのようなナスがとれました。

写真提供/渡部重記さん（大石田）

連載

心ある医療

福島県立宮下病院からの情報コーナー

患者送迎バスを運行して1年

延べ4,000人以上の方にご利用いただきました

宮下病院では昨年6月より患者送迎バスの運行を始め、今年7月末までの1年2ヶ月間で利用者は延べ4,229人となりました。運行当初は、1日平均11人の利用でしたが、口コミや運行案内パンフレットの配付により、今年4月の利用者は1日平均16.9人に増加しました。

患者送迎バスは、月曜日から金曜日まで1日2コース運行しております。今後とも多くの皆様にご利用をいただきたいと思います。運行コースなど詳しくは、宮下病院事務部にお問い合わせください。また、患者送迎バスについて、ご意見・ご要望がありましたら、病院内の「意見箱」にご意見等をいただければ、前向きに検討してまいります。

患者送迎バスを希望される方は、宮下病院事務部までご連絡ください。

☎ 福島県立宮下病院事務部 Tel 52-2321



患者送迎バス

《お知らせ》

宮下病院では、現在「心ある医療」出前講座の申込を受け付けております。8月には下記のとおり講座を実施いたしました。

8月5日(火)10:30～

三島町「大谷活性化センター」主催：お達者塾

講座名「いつまでもいきいきと自分らしく

～閉じこもり、認知症、うつ予防～

8月5日(火)14:00～

金山町「西谷集会場」主催：西谷区長

講座名①「いつまでもいきいきと自分らしく

～閉じこもり、認知症、うつ予防～

②「腰痛、膝痛の原因

～若がえりのための体操～

また、下記の講座を新たに追加しましたので、出前講座を希望する方は宮下病院事務部までご連絡をください。

講座名「高齢者の転倒予防・寝たきり防止

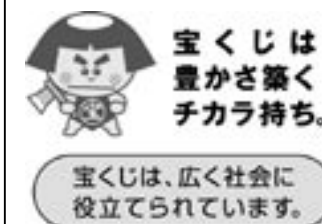
～いつまでも、足・腰 元気!!～



会議テーブル55台を購入しました

コミュニティ助成事業

財団法人自治総合センターが全国自治宝くじの普及広報事業として行っている「コミュニティ助成事業」により、町では会議テーブル55台を購入し、町民センター大ホールに設置しました。町内の各種団体や町が開催する会議やイベント等に活用し、多くの皆さんにご利用いただきます。



宝くじは、豊かさ築くチカラ持ち。
宝くじは、広く社会に役立てられています。

※年末ジャンボ宝くじやサマージャンボ宝くじなどの全国自治宝くじの収益金は、市町村のまちづくりのために役立てられています。

平成20年度

福島県動物愛護のつどい

飼い犬のしつけを学んだり、動物と楽しくふれあっていただく「動物愛護のつどい」を開催します。子どもから大人まで楽しめます。参加は無料ですのでぜひお越しください。

と き 9月20日(土)13:00～15:00

ところ 会津若松市文化センター

(会津若松市城東14-52)

内 容 動物愛護児童画展 (小学校1年生の動物を描いた絵画100点が展示されます。)

○動物愛護児童画コンクール表彰式

○飼い犬のしつけ方教室

○動物相談コーナー

(動物病院の先生が相談に応じます。)

○ふれあいコーナー

(小動物とのふれあいができます。)

主催/福島県 共催/社団法人福島県獣医師会

協力/会津地区動物愛護ボランティアの会

☎ 福島県会津保健福祉事務所 食品衛生チーム

Tel 0242-29-5517

三島町地域防災計画

【第3回】

■地震の時の避難

1. 避難所の指定

地震により、建物の応急判定で「危険＝赤」又は「要注意＝黄」と判定された場合、又は「調査済＝緑」の場合でも危険を感じる場合は、一時的に町指定の避難所に避難してください。

2. 町や防災機関では

①避難勧告・避難指示

町から、防災無線又は広報車によりお知らせしますので、住民・事業所の皆さんは指示に従ってください。避難勧告・避難指示は次のようなときに出されます。

○災害が拡大する恐れがあるとき

○避難の必要が予想される各種気象警報が発表されたとき

○危険物の流出、拡散又は爆発の恐れがあるとき

○地すべり、がけ崩れ等により著しい危険が切迫しているとき

○その他、住民の生命・身体を災害から保護するために必要と認められるとき

②避難誘導

町・警察署・消防署が避難所に誘導します。避難はできるだけ隣近所に声をかけて、隣組単位で行ってください。

③町指定避難所の開設

行政区内には、町が指定する「避難所」があります。住民の皆さんが被災して援助が必要になったとき、一時的な保護や食料配布等を行うため、各地区集会所等に避難所を開設します。

■地震に関する情報の入手方法

災害発生時には、正確な情報が入手しにくくなり、「デマ」や「うわさ」が発生しやすくなります。誤った情報に右往左往して余計な混乱を起こさないように、信頼できる情報はどこからどのように出されているのか知っておきましょう。

○町からの情報源

防災無線・広報車・避難所の掲示板

○町以外からの情報源

福島県・警察署・消防署・東北電力

N T T 東日本・J R 東日本・日本郵政

☎ 役場 総務課 総務係 Tel 48-5511

これからの行事予定 town schedule

- 9月9日(火)
19:00～ 三島中学校地区懇談会(三島中学校)
(社会を明るくする運動)
- 9月10日(水)
14:00～ 教育委員会定例会(町民センター)
- 9月12日(金)
10:00～ ワンダークラブ(三島保育所)
- 9月17日(水)
9:00～ 3町村(三島・金山・昭和)小学校陸上
記録会(金山小学校校庭)
- 9月19日(金)
10:00～ Y Yサークル(柳津町ふれあい館)
- 9月20日(土)
13:00～ 都市農村交流マネジメントコーディネーター
育成研修会(町民センター)
- 9月24日(水)・25日(木)
18:30～ ビーチバレーボール大会
(三島中体育館・森の校舎カタクリ体育館)
- 9月26日(金)
10:30～ 高齢者総合相談センター巡回相談会(福寿草)
- 9月28日(日)
8:00～ 第2回市町村対抗野球大会
(県営あづま球場)
- 10月2日(木)
13:30～ 民生児童委員協議会定例会(福寿草)

《社会福祉協議会より》
生きがいデイサービス「サロン事業」の予定

9月25日(木)10:30～ 美坂高原
桜原はつらつクラブ
高清水・小山いきいきサロン
滝谷和楽塾
間方いきいきクラブ
4地区合同「グラウンドゴルフで交流」

第7回
会津地鶏まつり
10月12日(日)
午前10時～午後3時 美坂高原
地鶏バーベキュー 1口3,500円(3～5名分)
【同時開催】美坂高原新そばまつり
新そば食べ放題(100名限定) 1人2,000円
前売券のお申し込みは下記まで
役場 産業建設課 農林係
Tel 0241-48-5533

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》
図 役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

4ヶ月児健診
9月9日(火)11:15～
坂下厚生総合病院

足腰げんき教室
○水中運動編
9月10日(水)13:00～ 町民センター集合
西会津さゆり公園プール
○室内運動編
9月18日(木) 9:30～ 町民センター

機能訓練会
9月24日(水)13:30～ 福寿草

からだげんき運動教室
9月29日(月)13:30～ 町民センター

心の健康相談
10月1日(水)13:30～ 福寿草
※相談を希望される方は事前に保健師までお申し込みください。(Tel 48-5565)



自動車

点検をする人は、車好きというよりも
家族好きなんだと思います。
車は家族の一員です。
さあ、あなたも日常点検を始めましょう。

自動車点検整備推進運動
強化月間 9月～10月

車の日常点検や定期点検をきちんと行っていますか。日頃のこまやかな点検を行っていれば、運転中のトラブルの多くは回避できます。車の健康管理は、車を守るだけでなく、人の命や環境を守ることにつながります。
図 国土交通省 東北運輸局 福島運輸支局
Tel 024-546-0342
福島県自動車点検整備推進協議会
Tel 024-546-3451

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では7月中、車上ねらいと器物損壊の2件の犯罪が発生しました。全国的には振り込め詐欺の被害が多発しています。その中でも、「還付金等詐欺」という手口で、社会保険事務所や税務署の職員などをかたり、「年金の払い戻しがある。」という口実でATM(現金自動預け払い機)からお金を送金させて騙し取る手口です。公的機関の職員がATMの操作を指示することはありませんので信用しないでください。

三島町内街頭犯罪等発生状況(1～7月)

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい		
忍 込 み		
事 務 所 荒 し	1	
出 店 荒 し		
自 動 車 盗	2	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	4	
自販機ねらい	4	
車 上 ね ら い	4	1
強制わいせつ		
街 頭 犯 罪 計	15	1
全 刑 法 犯	62	3

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・傷害・万引き等)の犯罪発生件数が含まれます。

相 談

困りごと・心配ごと・悩みごと
ご相談ください

相談はすべて無料 秘密は厳守します

○一般相談 月曜日～金曜日
午前9時～午後5時

○専門相談(予約制)

内容	相 談 員	相 談 日
年金	社会保険労務士	第2月曜日 (休日の場合は第4月曜日)
法律	弁護士	毎月3回 休日の除く火曜日
税金	税理士	第2水曜日 (休日の場合は第4水曜日)

相談は電話・来所・手紙・Eメールで

電話 024-524-2225
Eメール choju@fukushimakenshakyo.or.jp

福島県高齢者総合相談センター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

人 権

子どもの人権110番
強化週間 9月8日～14日

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、9月8日から14日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや体罰など子どもが抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じ、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

相談電話(フリーダイヤル)
0120-007-110

相談時間 午前8時30分～午後7時
※13・14日は午前10時～午後5時

図 福島地方法務局 人権擁護課
Tel 024-534-1994

ご寄付ありがとうございました

社会福祉協議会へのご寄付

ご遺志によるもの

堀 内 誠 喜 様(名 入)

歳時記 萌の会

墓守る主の重さや盆用意

十葉の花を跨ぎて回覧板

宮下 栗 城 幸 子

二才児に読まれし心遠花火

雷鳴やしがつく子の肌愛し

宮下 諸 井 まさ子

人気は旬の新鮮野菜 地域の物産品を多くの人へ

物産品なごみ

目黒三和子さん

めぐろ みわこ 滝谷

道の駅「尾瀬街道みしま宿」の隣りで、直売所「物産品なごみ」を経営している目黒三和子さん。新鮮野菜や地域の特産品を販売しています。野菜は、三和子さんも含め滝谷地区の数人の方々が栽培しています。

「旬の野菜がやっぱり一番人気です。安全で美味しい野菜をみんな欲しがっていると思います。できれば食堂をやってみたいという夢もあります。もっと町内のお母さんたちと協力できればなあと思っています。」と三和子さんは話します。

店には、トマト、かぼちゃ、いんげん、白菜、大根、ししとう、きゅうり、なす、長ねぎ、ピーマン、枝豆など様々な農産物が並び、値段はほぼすべて100円。すべて滝谷地区で収穫されたものです。そのほか、美坂高原「空色カフェ」のクッキーや、地域のお土産品などが販売されています。最近はガソリン高騰の影響もあるのか、来客が少し減っているそうです。

「何か目玉になる商品があったり、店が2～3軒並んでいるといいと思うのですが。」と悩みながらも続けてきて今年で4年目。活気ある直売所を目指して、三和子さんは今日も店を開いています。



「物産品なごみ」を経営する目黒三和子さん



人口と世帯 8月1日現在（住民基本台帳）

人口	2,169人（-3）	7月中の	出生	0人
（男）	1,018人（-3）	人の動き	死亡	2人
（女）	1,151人（±0）		転入	0人
世帯数	865世帯（±0）		転出	1人

広報 みしま 9月号 No.186

発行日 平成20年9月5日

編集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
Tel 0241-48-5515

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

印刷 株式会社アポロ

みしま 編集後記

日々忙しく流れていく私たちの生活。仕事でも、私生活でも、いつも時間に追われ、ゆっくりできない方も多いのではないのでしょうか。そんな生活の中で、人のために何かをするということは、非常に労力と気力が必要なことだと思います。生半可の気持ちではできません。ボランティアで植えられた花々も、ただ見過ごしてしまえばそれまでですが、自分の時間を削って植えた人の優しい気持ちを思えば、花がより美しく見えます。そして、自分のことばかり考えていないで、人のために、地域のためにできることはないだろうか考えるのです。



「広報みしま」は環境にやさしい
大豆インクを使用しています。

※本誌の印刷経費は1部69.78円です。

広報みしま 平成20年9月号